#### 令和6年度 学校経営について

### 芦屋小学校の教育目標

郷土「芦屋」に誇りを持ち、ともに学び、よりよい未来を創り出す子どもの育成

# めざす学校像

- ○組織的に教育が営まれる学校
- ○信頼に応える学校
- ○確かな学力をつける学校
- 〇安心して生活できる学校
- ○安心して子どもと向き合える 働きやすい学校



## めざす子ども像

- ○考える力を身に付けた子ども
- ○聞く力・伝え合う力を身に付け た子ども
- ○人を大切にする力を身に付けた 子ども



## めざす教師像

- ○教育への情熱にあふれ、誠実に子どもと 向き合う教師
- ○確かな授業力・生徒指導力を常に追究し 続ける教師
- ○保護者・地域から信頼される教師
- ○親和力・コミュニケーション力を大切に
- し、協調・協働する教師



## <u>「チーム芦屋小」による「みんなで取り組む芦屋小」の創造</u>

#### あたまの鍛錬

# □ICTを活用しながら、一人で考えたりみんなで話し合ったりする授業を展開して確かな学力の定着や向上を図ります。

- □ICT機器等を活用した教育の充 実、学習規律や生活習慣の定着を図 る校内環境づくりを行います。
- □校内学習支援体制による少人数学習や補充学習を実施し、一人一人に応じながら学習指導方法を工夫・改善していきます。
- □「家庭学習強化週間」を実施し、家庭学習(宿題や自主学習等)の充実を図ります。
- □読書活動の充実と学ぶ意欲の向上 を図る児童主体の取組を実践し、創 造する心を育てます。
- □外国語活動の充実と英検等外国語 活動に関する取組に積極的活動を図 ります。

#### こころの鍛錬

# □芦屋町に関わる学習のふり返り活動を通して、わが町に誇りを持つ「シビックプライド」を 醸成します。

- □ねらいを明確にした道徳の授業や共感的人間関係を育む活動を通して、心の教育の充実に努めます。
- □芦屋小の「3つのあ」の日常 的な推進を図ります。
  - ・あいさつ(礼節)
  - あんぜん(命)
  - ・ありがとう (感謝)
- □ 異年齢でのたてわり班活動を 行うことを通して、自主性を高め交流する心を育てます。
- □一人一人のニーズや実態調査 等にもとづいた特別支援教育・ 人権教育の取組を充実させま す。

#### からだの鍛錬

- □食育の授業や日々の給食指導、弁当の日を通して、食への 関心を高め、望ましい食育の充 実を図ります。
- □体力向上を図る体育科授業の 充実と体力テストの結果を掲示 し、運動への関心を高め自分の 目標を持たせます。
- □「体力アップ週間」に外遊び を奨励し、みんなで遊んだり体 力を高める運動遊びを行ったり します。
- □「スポコン広場」の取組を通して、運動・スポーツへの習慣化を図ります。
- □防犯教室や交通安全教室、災害避難訓練や薬物乱用防止教室を行い、自分の生命は自分で守る態度を育成します。

#### <教職員の力量の向上を図る取組>

- ・みんなが一つのチームとして活動するために、特別活動を中心とした学校・学年、学級作りを行います。
- ・若年教員の育成と指導力の定着を図ります。
- ・年齢層に応じた人材育成を組織的に行うことで、学校総体としての教育力向上を図ります。
- ・「もって範を垂れる」をモットーに、率先して教育活動に取り組みます。
  - ◆もって範を垂れる…身をもって自ら手本を示します